

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	高校生のキャリア構築支援事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/未来を担う子どもたちの育成	担当課	総合政策課
施策①	生きる力を育む学校教育の充実	電話番号	0193-27-8463
施策②	小学生から高等学校までの系統的なキャリア教育の推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
市長基本施策	多様につながる拠点としての先駆的なまちづくり	補助・単独	単独
事業期間	令和4年度～令和7年度		
事業の概要			
市内高校生が自己探求及び社会の課題解決に向けて主体的に行動できるよう、①志を持って活躍する社会人と高校生の対話の場を設け、職業観の醸成を行う「釜石コンパス」を実施する他、②地域おこし協力隊制度を活用した「教育魅力化コーディネーター」を配置し、高校生が地域と関わり、学び合うためのコーディネートを行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
高校生は、自らの進路や将来について「やりたいことが分からない、見つからない」「自分で決断する自信が無い」と感じており、また地域や社会のことを学びたいというニーズがあることから、社会課題の解決と高等教育の接続が図られる探求型学習が求められている。また、進路や将来を考える上で、その相談者が家族や先生と身近な範囲での情報源に依存しており、多様な可能性や考える機会が乏しい。
目的
地域内外に企業やNPO、大学などと連携した、自身のキャリア意識や郷土愛、起業家精神を醸成する教育プログラムの参加を通して、高校生が主体性をもって自己探求および社会課題解決に向けて行動することができる人材を育成する。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
県立釜石高等学校、県立釜石商工高等学校における教育の魅力化に取り組むため、地域おこし協力隊を教育魅力化コーディネーターとして任用、高校に派遣し、地域との接続を促す。 社会人との対話を通して、高校卒業後の進路選択や多様な生き方を学ぶ機会として「釜石コンパス」を開催。		
事業費		
R 5	R 6	R 7
15,567 千円	15,567 千円	15,650 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
高校生へのアプローチは継続しつつ、希薄となっている卒業生へのアプローチも併せて行い、継続して若年層との接点を持つよう、工夫されたい。 適宜、成果報告や果たしている役割などの周知を図られたい。			

令和4年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和5年度～令和7年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	かまいしコミュニティスクール推進事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/未来を担う子どもたちの育成	担当課	学校教育課
施策①	生きる力を育む学校教育の充実	電話番号	0193-22-8833
施策②	豊かな心の育成	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
市長基本施策	市民が主役の開かれた市政	補助・単独	単独
事業期間	令和4年度～令和7年度		
事業の概要			
市内小中学校において、地域に元気を与えるような活動、当市の風土・伝統及び有形無形の財産を活用して郷土理解を深め郷土への誇りと愛着を育む活動、地域と協働により取り組む活動等に要する経費に対し、交付金を交付するもの。また、学校運営に地域の声を積極的に生かし、「地域とともにある学校」及び「学校を核とした地域づくり」を進めるため、学校運営協議会の設置及び運営を推進するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
地域のつながりが希薄となっており、学校・家庭・地域が目標を共有しながら活動することが少なくなっている。釜石らしさを生かした学びや郷土理解を深める機会が少なくなっている。	
目的	
地域に元気を与えるような取り組み、釜石の風土、伝統及び有形無形の財産を活用して郷土理解を深め、郷土への誇りと愛着を育む活動、地域と協働により取り組む活動等を通し、釜石に愛着を持つ人材を育成する。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
①市内小中学校が行う次の事業に対して交付金を交付する。・地域の風土、伝統及び有形無形の財産を活用した事業 ・ものづくりや鉄の学習に関する事業 ・全国から支援を受けたことに対する感謝や防災意識を高めるための事業 ・学校の周囲の方に感謝を込めた地域清掃活動 ・その他目的を達成するための事業		
②学校運営協議会の設置及び運営を進める。		
事業費		
R 5	R 6	R 7
2,100 千円	2,100 千円	2,100 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	見直し余地あり
評価結果			
児童・生徒の郷土理解を深め、郷土への誇りと愛着を育む取組として、継続実施と判断した。なお、コミュニティスクールマイスターについては、令和4年度の学校運営協議会の取組結果を踏まえて、令和5年度以降必要有無について検討が必要である。また、コミュニティスクール推進事業交付金については、各学校によって使用目的や使用方法等に差が生じているため、交付金のあり方及び使用方法等について適正かどうかを確認する体制が必要である。			